

# 自分の個性を見つけ、磨く



「ゴバク」(ウクライナ民族舞踊)  
ポリシヨイバレエアカデミー時代

## Profile

細谷 海斗

Kaito Hosoya

2歳でバレエを習い始め、湯沢南中学校卒業後の2016年、モスクワ国立ポリシヨイバレエアカデミーに留学。アカデミー卒業後は、国立ノボシビルスクオペラ・バレエ劇場に所属し、バレエダンサーとして活躍。

(市長) 人との縁や運もあったかと思いますが、やはり細谷さん自身が努力を積み重ねてきたということが大きいのではないのでしょうか。

(細谷) 努力をしたというよりは、そうすることが当たり前という環境にあっていました。厳しい環境だったと思いますが、結果としてその後の自分につながったと思います。

(市長) そのようにポジティブに捉えられるというところが良いことなのかもしれませんね。以前表紙を飾ったあのジャンプは私には無理です(笑)。やはり極限まで体を鍛えているからできることなのでしょう。

(細谷) 私たちからすればそんなに難しいことはありません。私は、バレエはスポーツではなく芸術だと考えて

(市長) 今後の活動はどのように考えていますか。

(細谷) 望みが叶えば、海外に拠点を置いて海外の舞台で踊っていきたいなと思っています。また、習得したロシア語を生かし、ウクライナのかたがたに対して、今自分ができること、助けになることがあるのではないかと考えています。



(市長) 何かを極めるということにはずいぶんだと思えます。

(細谷) それは幸せなことだと思っています。私自身、小さいころから一つのこと集中して、それに夢中になって取り組める環境があったということはとても幸せなことだと思います。

いるので、ジャンプするにしてもどう表現し、何を伝えるかということに重きを置いています。もちろんそのためには自由に動ける体が必要なので、小さいころからの鍛錬は欠かせません。

ゆざわのまち・ひと・しごと  
おらがひと

特別対談

プロバレエダンサー

細谷 海斗 さん  
(21歳)



佐藤 一夫 市長



写真左から「白鳥の湖」道化役、「ノートルダム・ド・パリ」ソリスト(ノヴォシビルスクオペラ・バレエ劇場の舞台にて)



華やかなジャンプで表紙を飾った「広報ゆざわ平成28年4月1日号」を手に市長と記念撮影

細谷海斗さんの出身スクール  
佐藤洋子バレエスクール発表会  
湯沢教室42回・横手教室30回・大曲教室26回  
～BALLET PERFORMANCE～

細谷海斗さんがゲスト出演します!

日時 7月17日(日)  
13:30開場/14:00開演

場所 湯沢文化会館 大ホール

協 佐藤洋子バレエスクール 伊藤 ☎080-1026-6594



(市長) 最後に、湯沢の若者たちへメッセージをお願いします。

(細谷) 私は、自分の個性を見つけ、それを磨くことを大切にしてきました。そうしたプロセスが今につながっていると思っています。全て良い結果になるわけではありませんが、プロセスを大事にしてチャレンジすることが、踏み入れることになった分野ともつながる鍵になると思います。

(市長) 留学中苦労したことはどんなことでしたか。

(細谷) 留学前に簡単な言葉は独学で覚えましたが、最初はやはり大変でした。生活面は寮生活だったので、必要なものはそろっており、不便を感じることはありませんでした。

(市長) 15歳でバレエ留学を決断するというのはわれわれには考えられない経験ですね。

(細谷) 留学の最終的な判断は自分ですが、自分一人で切り開いたわけではなく、先生方や親の支援があって実現しました。ですから、応援してくれる人たちのために頑張ろうと思えました。

(市長) 以下「市長」細谷さんは南中を卒業してすぐにロシアに行かれたのですね。

(細谷海斗さん、以下「細谷」) ロシアは新年度が9月からなのでそれに合わせて留学しました。

湯沢南中学校卒業後、ロシアへバレエ留学し、プロのバレエダンサーとして活躍する細谷海斗さん。5月23日、佐藤市長との対談が実現しました。